

—新しい形の共同構築型多機能データベース—

Q. NCRB (Natural Conversation Resource Bank) とは？

Q. 誰が使う？



●日本語学習者：

WEB上で自由は

WEB上で自由に、自分のペースで、自分の好きなシーンから**独習**できる。**初級から超級に至る**までのすべてのレベルの学習者が、各自のレベルや興味に応じて活用できる。特に**海外の学習者**は、日本語の自然な会話に触れることによって、学習動機を高めることができる。

●日本語教師：

日本語の**授業中**に、日本語会話の音調や間合いの学習、討論の材料などとして、多様に活用できる。スピーチレベルのシフトなどの、場面や人間関係に応じたコミュニケーションの方法について**議論させる**など、さまざまな活用法がある。

●自然会話の音声・動画及び文字化資料を搭載した共同構築型「**多機能データベース**」

●語用論・対人コミュニケーション
研究用の『BTSJ日本語自然会話
コーパス』を含む、さまざまな**自然
会話**を格納

●教材作成支援機能を持つ、共同構築型の『自然会話を素材とするWEB教材』

世界初の試み！

👉YouTubeとウィキペディアを
合体したような共同構築型
「自然会話を素材とするWEB教材」

Q. どのように使う？ (教材作成画面)

7. ユーザー登録をして、
「教材を作成したい方はこちら」から入る

[illegible]

2. 会話の動画を登録して、 会話の基本的な情報を入力する

ライン 番号	発話文 番号	発話文	話者	発話内容	開始	終了	発話 時間
0001	1	*	女研 ↓	失礼します。	00:01	00:02	00:01
0002	2	*	女研 ↓	「沈黙の山」どうぞ、お手をお試しになってくださいませ。	00:11	00:14	00:03
0003	3	*	ロシア人 ↑	ありがとうございます。	00:14	00:16	00:02
0004	4	*	女研 ↓	こちら、冷たいお茶なんです。	00:16	00:20	00:04
0005	5	*	女研 ↓	ごちそう、あのう、こちらの、旗艦の、オリジナルの、おか、あのう、	00:20	00:26	00:06
0006	6	*	ロシア人 ↑	あ、そうはいいですか。	00:26	00:27	00:01
0007	7	*	女研 ↓	あのう、お書きを頂けた、あのう、お砂味噌の、きんつばのようなお菓子です。	00:27	00:36	00:09

🕒 タイムスタンプをつける
と、教材画面
でハイライト
表示が可能

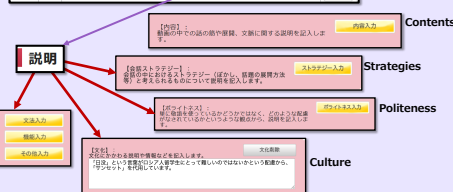
学習者の日本語も
教材にできる！👉



3. 各発話内容に対して、いろいろな観点から説明を入力する



ナンバ	出演者 役名	台詞	発音(訂正)	説明
0028	20 女性	お静香ももう、ちょっと寂になっちゃまして(そうそう)、結構、ね、山田さんでも、お慰めなさい。	そんなんですか	入
0029	21 ロシア人	そんなんですか	そんなんですか	入
0030	22 ロシア人	お静香、お静香もまた(ええ)たては(はい)つたんで(す)はい)、ちゃんと聞かなくてはいけません。もう、	あー、もう、	入
0031	23 女性	あのう、あなた、一歳くらい大きくなっています。	あー、もう、	入
0032	24 女性	えーと、自分まで、	あー、もう、	入
0033	25 ロシア人	へい、へい、	あー、もう、	入
0034	26 女性	<やう>、これからでもまだ間に合いますので、	あー、もう、	入
0035	27 女性	あー、そんなんです。	あー、もう、	入
0036-28	1 女性	はい、いえ、僕も私も、<何れとか別けりゃいいぞ、あのう……サンセットまで……>	あー、もう、	入
0037	29 シン・ア人	あー、もう、	あー、もう、	入
0038-28	2 女性	<はい、もうすぐです>(わい、)	あー、もう、	入
0039	30 ロシア人	あー、はい、	あー、もう、	入



4. Step1、2、3の選択問題、記述問題の問題文と答えを作成する

[illegible]

るライン
にリンク
ます

Q. どんな教育ができる？

●日本への興味を喚起、日本語学習への動機付けになる。

●学習者として、実際のコミュニケーションの**擬似体験**ができる。

●自然会話を素材とする教材に触れさせることで、学習者に日本語の多様性を認識させることができる。

●言語使用を**非言語行動**とともに理解できる。

●教科書の日本語と自然な日本語の違いを意識化できる。

●母語話者と学習者の日本語を比較し、学習者が自らの言語行動を可視化し、**振り返**ることができる。

●学習者自身が、**学びたいことを見つける**ことができ

●学習者だけでなく、日本語教師の気づきを促すことができる。

Q. 何をめざす？

母語場面、接触場面を問わず、「動画と文字化資料」を
核とする自然会話素材を集めたリソースバンクを構築
(研究用、教材用)

世界中の接触場面、母語場面における自然な日本語
コミュニケーション素材を**共同で**WEB教材化

共同構築型「自然会話を素材とするWEB教材」の作成

世界的教材共有ネットワークの構築

「自然会話教材の高度共有化」
「教材作成支援システムの活用」などを通して、
「教師共同体の形成」という
「新しい言語教育のあり方」を提案、展開する！

本研究は、国立国語研究所の機関拠点型基幹研究プロジェクト「日本語学習者のコミュニケーションの多角的解明」、サブ・プロジェクト「日本語学習者の日本語使用の解明」（リーダー：宇佐美まゆみ）、およびJSPS科研費挑戦的研究（萌芽）18K18685「コミュニケーション能力を高める自然会話教材の高度共有化－共同体の構築に向けて－」（研究代表者：宇佐美まゆみ）の成果の一部である。